

生活保護基準の検証について

概要

生活保護基準については、定期的に検証を行うこととしており、検証に当たっては、社会保障審議会生活保護基準部会を設け、5年に1度実施される全国消費実態調査のデータ等を用いて、専門的かつ客観的に評価・検証を実施することとしている。

これまでの議論と今後の方向性

- 前回の生活扶助基準の検証については、生活扶助基準と一般低所得世帯の消費実態との均衡が適切に図られているか、年齢・世帯人員・居住地域の3要素別に検証し、平成25年1月に報告書を取りまとめ、平成25年8月からその検証結果等を踏まえた見直しを行った。
また、住宅扶助及び冬季加算の検証については、各地域の家賃や光熱費の実態を検証し、平成27年1月に報告書を取りまとめ、平成27年度にその検証結果を踏まえた見直しを行った。
- 次期生活扶助基準等の検証については、生活保護基準部会において、検証手法を検討した上で、平成26年全国消費実態調査のデータ等を用いて、平成29年度に本格的に検証を行う。

(参考)『生活保護制度の在り方に関する専門委員会報告書』(平成16年12月15日)

「今後、生活扶助基準と一般低所得世帯の消費実態との均衡が適切に図られているか否かを定期的に見極めるため、全国消費実態調査等を基に5年に一度の頻度で検証を行う必要がある。

社会保障審議会生活保護基準部会 委員名簿 (五十音順・敬称略) ◎: 部会長 ○: 部会長代理

| | | | |
|-------|---------------------|--------|---------------|
| 阿部 彩 | 首都大学東京都市教養学部教授 | ◎駒村 康平 | 慶應義塾大学経済学部教授 |
| ○岩田正美 | 日本女子大学名誉教授 | 栃本一三郎 | 上智大学総合人間科学部教授 |
| 岡部 卓 | 首都大学東京都市教養学部人文・社会系長 | 宮本みち子 | 放送大学副学長 |
| 小塩隆士 | 一橋大学経済研究所教授 | 山田 篤裕 | 慶應義塾大学経済学部教授 |

(参考)平成28年度の主な開催状況

- 第23回 平成28年5月27日 生活保護基準の検証における課題と今後の検討の視点
 - 第24回 平成28年7月15日 生活扶助基準の水準の検証手法、基準見直しの影響の検証手法
 - 第25回 平成28年10月7日 有子世帯の扶助・加算のあり方、その他の扶助・加算のあり方
 - 第26回 平成28年10月28日 勤労控除等の見直し効果の検証、級地制度のあり方
 - 第27回 平成28年11月25日 これまでの議論を踏まえた平成29年検証に関する議論の整理
- ※平成29年1月中に第28回目の部会を開催し、平成29年検証における検証方針を整理する予定。